

灘区小学生ふれあいドッジボール大会ルール

試合時間：前半4分、ハーフタイム2分、後半4分
(本部の笛の合図で、各コート一斉に試合を行う。)

❖試合をするにあたって

- (1) 総当たり戦を行い、各試合で前半・後半で内野に残った人数を得点とし、その合計の多いほうが勝ちとする。
※申込状況により、総当たり戦ではなく、トーナメント戦に変更する場合があります。
- (2) 順位は勝ち点（勝ち2点、引き分け1点、負け0点）の多い方を上位とする。
※勝ち点と同じ時は、得失点差の大きい方が上位。（それも同じ場合は、チーム代表者のじゃんけんで決める。）
※トーナメント戦で同点となった場合は、勝ち点等に関わらず、代表者のじゃんけんで勝敗を決める。
- (3) ゲームは、10人対10人で行う。（試合開始時：内野7人、外野3人）
- (4) 登録選手（20名以内）は、各試合とも前半・後半のどちらかに必ず全員出場しなければならない。
- (5) 選手交代は、ハーフタイム（2分間）時のみできる。ただし、前半・後半ともに男女混合でなければならない。
- (6) 前半に出場する選手が1～10番のゼッケンをつけ、11人以上で参加するチームは、後半から出場する選手が11～20番のゼッケンをつける。（試合中のゼッケンの交換は、反則負け。）
- (7) ベンチに入れるのは、登録選手及び大人2名（監督・コーチ）とする。

❖競技ルール

- (1) 外野は、相手の内野を当てると中に入ることができる。
※当てたらその時点で、すぐに入らなければならない。
※外野が3人のときは、当てても中に入れない。（外野は、常時3人以上いなければならない。）
※最初から外野にいた選手でも当ててからでないと入れない。
- (2) 内野で相手の投げたボールに当てられた選手は、速やかに外野に出る。
ボールが地面につく前に、2人3人と連続で当たった場合は、当たった人全て

がアウトになる。(当たったボールが、地面につく前に他の人が受けた場合はセーフとする。)

※頭部への攻撃は、禁止とする。(当たってもアウトにならない。)

- (3) コート外に出たボールは、相手の内野ボールからスタートする。
- (4) 相手チーム全員を当てたら、時間内でも前半(後半)のゲーム終了となる。
(相手チームの最後の1人を外野から当てても、内野に入ることはできない。)

❖相手ボールになる反則

- (1) ラインを踏んでの投球。(投球後の踏み越しはセーフ)【ラインクロス】
- (2) 頭部(首から上)への攻撃。
- (3) 相手コートにあるボールを手などで引き寄せる。
- (4) 味方同士のパスで、故意に試合を遅らせていると審判が判断した場合。
- (5) 内野の人が当てられた直後にボールを触ってしまう。【ダブルタッチ】
- (6) 外野同士のパスが相手の内野を通らなかった場合。【ダブルパス】
- (7) 内野の人がボールをキャッチした時に、ラインを踏んでしまった場合。